

# 海底火山活動状況\*

海上保安庁水路部

## 1 西之島新島

(前項と重複するので省略)

## 2 福徳岡の場(南硫黄島付近)

昭和50年11月13日海上保安庁調査によれば次のとおり。

活発な変色水(火山ガス)の湧出が数分毎にくりかえされ、湧出点の直径は150~180m、位置は南硫黄島山頂から $14^{\circ}$ (T.N.から)約4マイル $24^{\circ}18'1N$ ,  $141^{\circ}29'0E$ で同年2月の湧出地点から北約1マイルの地点である。(なお、この付近湧出は同年2月5日(海保)4月7日(防衛庁)4月30日(海保)6月11日(海保)の調査時も活発)

## 3 鳥 島

昭和50年8月13日, 11月12日, 11月13日海上保安庁調査によれば、島の周囲に茶かっ色の変色水域が分布している。陸上は静穏。

## 4 明神礁

昭和50年8月13日, 11月12日海上保安庁の調査によれば火山性の活動は全く認められなかった。

## 5 須美寿島

昭和50年8月13日海上保安庁の調査によれば、同島北端付近から黄かっ色変色水が東へ約500m流出していたが、同年11月12日, 13日の海上保安庁の調査では認められなかった。

## 6 日吉沖の場(南硫黄島南東約50マイル)

(未確認情報)

第8光覚丸(59t・焼津 所属)の報告によれば $23^{\circ}30'3N$ ,  $141^{\circ}55'E$ 水深150mの地点で船から150mの位置に白色の波が立った後海面の盛り、高さ5mくらいの岩石の瞬時出現。その後に黄変色水があり、船体に2度衝撃があった。

\* Received Jan.12, 1976